

着任のご挨拶



前任の右田部長を引き継ぎまして日本医科大学小児科から着任いたしました早川 潤と申します。出身は埼玉県さいたま市(浦和)

和)で日本医科大学を平成9年卒業し母校の小児科医局に入局いたしました。専門は小児科一般ではありますが、とくに小児がん・免疫不全症を専門にしています。日本医科大学は救急救命センターが有名で北総病院はドラマ“コードブルー”の撮影にも使用されていますが、武蔵小杉、多摩永山にも附属病院を持ち、いずれの病院でも診療した事があります。また他にさいたま赤十字病院や勝楽堂病院にも勤務したことがあります。

臓器別に細分化が進んだ内科とは違い、小児科医は専門はあるものの常に“こどものなんでも屋さん”であることを要求されます。少子化が進み、以前にくらべてどの病院でも外来患者数自体は減少傾向にあると思いますが、その診療内容は感染症に限らず多彩になってきており、とくに最近では家庭環境が複雑であったり、受験勉強が激化することで、子ども達にストレスが溜まっているのか、発達障害や不登校などの児童精神科的な問題の患者、不定愁訴的な受診が増加傾向にあります。また山手メディカルではその地域柄、日本人に限らず実にさまざまな国の方がお見えになり、文化風習も違う子供たちへの乳児検診やワクチンの実施などに戸惑うこともあります。

早川 潤 (小児科部長)

当科の常勤医師は峯医師と二人なのですが、日本医科大学から専門性のある医師を非常勤で派遣してもらっています。平日の午前は一般外来を行っており、予約の必要はありません。アレルギーの相談や発熱、咳、鼻汁、腹痛、下痢、嘔吐、発疹などの種々の症状があるお子様の診療を行っております。外来では至急の血液検査、レントゲン検査や溶連菌、インフルエンザウイルス、アデノウイルスなどの迅速検査が行えます。診療科に悩まれるケースもまずは小児科でトリアージさせていただきますので気軽に紹介いただければと思います。午後の診療は予約制で、健診と予防接種を行っております。1カ月健診、6~7カ月健診及び9~10カ月健診などを行っております。当科では4種混合(DPT-IPV)、ヒブ、肺炎球菌、MR(麻疹・風疹)、水痘、ムンプス、日本脳炎、2種混合ワクチン、BCG、インフルエンザ、ロタウイルス、B型肝炎の予防接種を行っております。近年、新しいワクチンが開発され、その普及によりワクチンで予防できる疾患が増えてまいりました。このため幸いなことに一昔前と比較すると感染症の患児は減少傾向にあるようです。その分、予防接種の過渡期とも言える今日、予防接種スケジュールをきちんとご家族に提示することもなかなか手間のかかる作業です。このようなケースもご紹介頂ければ幸いです。

以上簡単ではございますが着任の挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願いたします。